

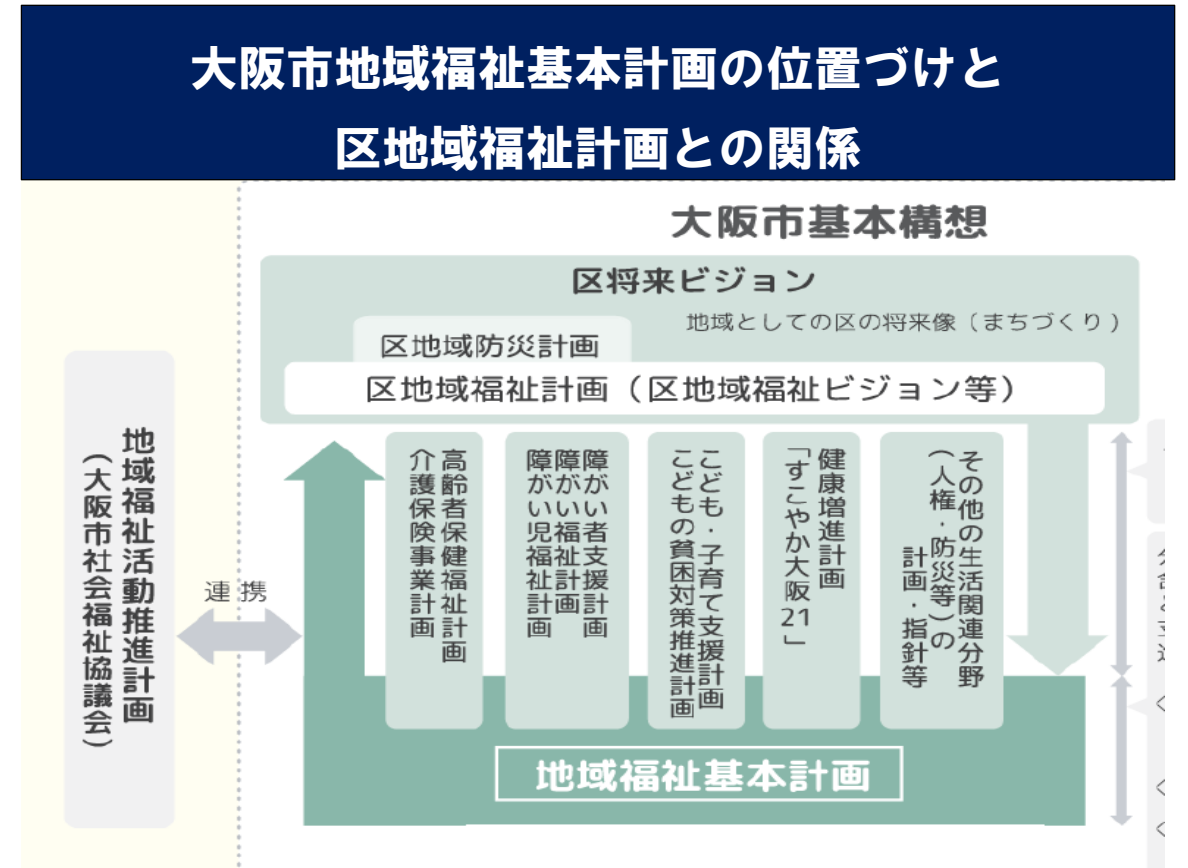
第2期大阪市北区 地域福祉計画について



令和2年 8 月
北区地域福祉推進会議（書面開催）

第2期計画の位置づけ

- 第1期計画（H27年度～R元年度）での取り組みの成果や継続して取り組むこと，さらに，地域福祉を取りまく新たな課題などに対応するため，第2期計画を策定
- 大阪市地域福祉基本計画をはじめとする市の各種計画を踏まえ北区の特性に応じた計画を策定



•計画の期間

令和2（2020）年度から令和6（2024）年度の5年間

•計画策定の経過

計画の策定にあたり、平成30年度に実施した北区地域福祉計画検証アンケートやヒアリング調査や令和元年度に開催した地域福祉推進会議や地域支援連絡会議での意見集約を行い計画策定

第2章 北区の現状

◆転出入が多く、人口移動の激しい地区

人口 136,602人（令和元年12月現在）

⇒10年間で約3万人増加

⇒年間約3,000人超の転入超過

昼間人口は41万人を超え（昼間人口比率は33.2%）

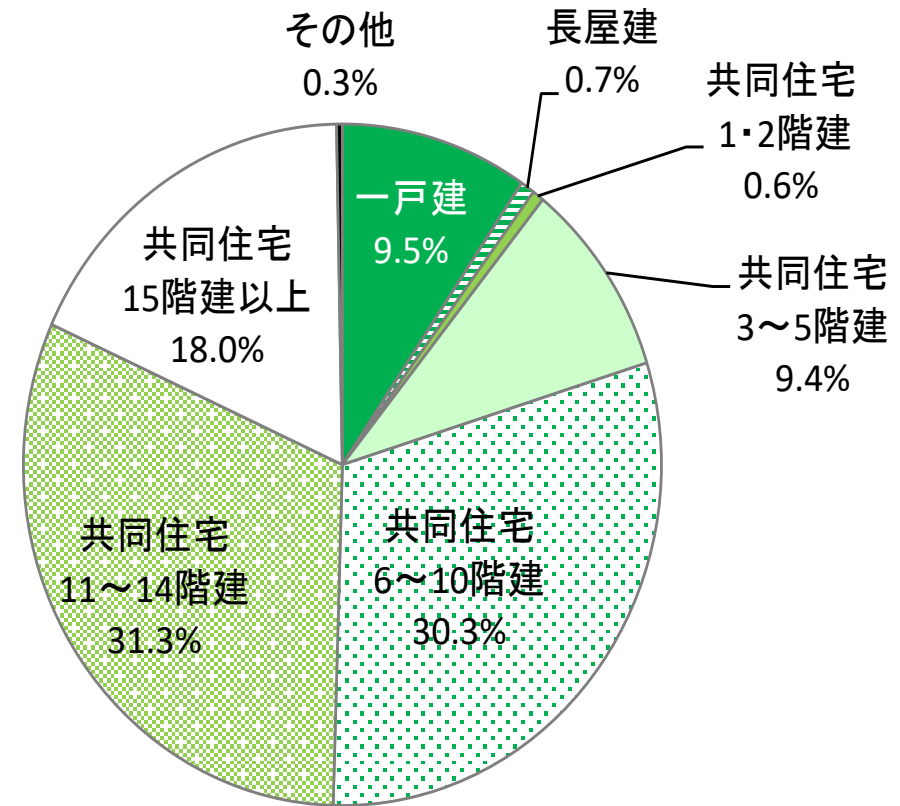
市内で2番目に高くなっている



◆マンション世帯が9割

住宅別世帯割合 マンション世帯が9割

(平成27年国勢調査)



近年、タワーマンションの相次ぐ建設やICTの普及等により、地域コミュニティを取り巻く社会環境や情報環境の変化が大きく進んできたことに伴い、ライフスタイルや価値観も多様化

外国にルーツを持つ人々の増加も地域社会に多様化をもたらす一因

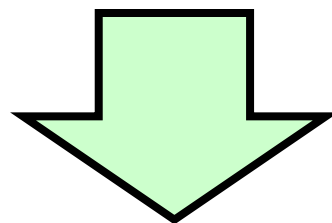
第2期計画へ向けた取り組みの整理

- 第1期計画での5年間の地域福祉の推進により、北区における地域福祉の取り組みとしくみづくりは大きく進んだ。

第1期計画の成果を継続していくとともに、体制やしくみの情報提供を強化し、支援が必要な当事者とともに地域の中に、十分にいき渡らせていくことを進める。

第2期計画においては、第1期計画の5本の柱をまとめ、縦割りではなく、より、統合的な計画とし、3本の柱に整理し第2期計画を推進する。

- ・相談・支援（サービス）の充実
- ・小地域での福祉活動の推進・強化
- ・災害時にも支え合えるつながりづくり
- ・“ふくし”の学びの充実
- ・企業や事業所との連携・協働の推進



◇つながりや支え合い

◇相談支援の充実

◇ふくしのまなび

- ・小地域での福祉活動の推進・強化
- ・相談・支援（サービス）の充実
- ・小地域での福祉活動の推進・強化
- ・災害時にも支え合えるつながりづくり
- ・企業や事業所との連携・協働の推進
- ・災害時にも支え合えるつながりづくり
- ・企業や事業所との連携・協働の推進

取り組みの継続

情報提供の強化

第3章

地域福祉の基本理念と取り組みの柱

- 誰もが互いに尊重しあい、自分たちが暮らすまちに愛着をもち、ともに暮らし、支えあうコミュニティを形成し、心豊かに過ごすことのできる地域共生社会の推進をめざします。

また、さまざまな困難を抱えた場合でも社会から孤立せず安心して自分らしく生活を送ることができる社会の実現を地域とともに進めていきます。

- 北区のめざす「安全、安心で誰もが住みよいまち」「一人ひとりが尊重され、みんなが暮らし続けたいと思えるまち」を実現するために、第2期地域福祉計画では、つぎのような基本理念を掲げ地域福祉を推進していきます。

基本理念

人と人とのつながりと 支え合いのまち北区

～変化する社会に適応した地域づくりをめざして～

大切にしたい視点

だれもがつながるまち

だれもが「受けて」であり「担い手」

多様性を理解し、共生する地域

団体や組織の強みや特性を活かした交流や連携

ふくしの学びから生まれた場づくり

取り組みの柱

①地域でつながり支え合う活動の支援

②“きめの細かい”相談・支援の充実

③ふくしのまなび

第4章 地域福祉の推進に向けて

- 本計画の推進を通して、すべての人が、年齢や状況を問わず、その人のニーズに応じた適切な支援が受けられる地域づくりを進める「全世代・全対象型地域包括支援体制」の構築を進めるとともに、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手、受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現をめざします。

計画の評価・推進の体制

- 第2期計画における取り組みを着実に推進し、めざすビジョンに近づけるため、「北区地域福祉推進会議」において、PDCAサイクルマネジメントにより、計画の検証と評価を行います。
- P（Plan：計画）→D（Do：実行）→C（Check：評価）→A（Action：改善）の考え方にに基づき、計画・事業の進捗状況や課題等を把握するとともに、事業の効果を検証し、必要に応じて計画を見直しながら、北区の地域福祉にふさわしい取り組みを推進していきます。